

【経済学部生対象】クラス分けテストについて（ご案内）

本学では、入学時の英語力を適切に把握し、学修段階に応じた教育を行うことを目的として、クラス分けテストを実施します。（合格者のしおり P.10 に記載）

当初は「英検 2 級程度の英語力を測定するテスト」としてご案内していましたが、実施方法や教育的活用について検討を重ねた結果、**2026 年度入学者より「TOEIC Bridge® Listening & Reading IP テスト」**を用いることとしました。

TOEIC Bridge® L&R IP テストは、基礎から中級レベルの英語力を無理なく、かつ客観的に測定できるテストであり、入学時の英語力をより正確に把握することが可能です。

本テストの結果は、英語科目及び基礎演習（少人数担任制の 1 年生のための演習科目）のクラス分けにも活用します。これにより、学生一人ひとりの理解度や学修状況に配慮した、きめ細かな初年次教育を行います。

また、経済学部では 1 年次終了時にも再度受験し、英語力の伸びを可視化するとともに、2 年次英語選択科目のクラス分けに活用します。本テストの結果は、入学試験の合否や卒業の可否に影響するものではありませんのでご安心ください。

【実施概要】

実施日：2026 年 3 月 23 日（月）

受付時間：12：00 ～ 12：20 試験時間：12：30 ～ 14：10

持ち物：本人確認書類 1 点※・HB の鉛筆もしくはシャープペンシル・消しゴム

※日本国籍：運転免許証・パスポート・マイナンバーカード・生徒手帳（写真が添付されているもの）から 1 点

※日本国籍以外：在留カード・マイナンバーカード・特別永住者証明書から 1 点

※いずれも日本で発行の有効期限内・顔写真付きの原本

※本人確認書類を忘れた際は、受験できませんのでご注意ください。

※引っ越し、入国手続きの遅れ等の正当な理由により、指定された日時に受験できない場合に限り、下記

ULR からご連絡（申請）ください。申請後、大学から個別に対応方法についてご連絡いたします。

申請フォーム <https://forms.office.com/r/wXmGEUkuKg> 申請期限：3 月 10 日（火）

TOEIC Bridge® L&R IP テストに関する Q&A

■ 共通 Q&A

Q1. なぜ TOEIC®ではなく、TOEIC Bridge®を受験するのですか？

一般的な TOEIC® L&R テストは新入生にとって難易度が高いため、本学では基礎から中級レベルの英語力を適切に測定できる TOEIC Bridge® L&R IP テストを採用しています。入学時点の英語力を無理なく、かつ正確に把握することが目的です。

特徴（違い）

TOEIC®：日常生活+ビジネスシーン 約 2 時間（リスニング 45 分/リーディング 75 分）

TOEIC Bridge®：身近な日常生活（学校、旅行など） 約 1 時間（リスニング約 25 分/リーディング 35 分）

Q2. 入学前に特別な勉強や対策は必要ですか？

現在の英語力を確認するためのテストですので、特別な対策は必要ありません。これまでの学習の成果をそのまま発揮するつもりで受験してください。心配な方は、事前に下記 URL にアクセスし、出題形式や例題に目を通しておくことも可能です。

また、将来的に留学や英語を活用した就職をお考えの場合には、早い段階から TOEIC®受験を見据えた英語学習に取り組むことを本学では推奨しています。

【例題あり）TOEIC PROGRAM GUIDE_2025 年 4 月版 - IIBC

https://group.iibc-global.org/hubfs/page/top/program_guide.pdf?hsLang=ja

Q3. 3/23 のテスト結果は成績や進級、卒業に影響しますか？

いいえ、一切影響することはありません。テスト結果は、英語科目のクラス分けや今後の学習支援の参考資料としてのみ使用されます。

■ 経済学部に関する Q&A

Q4. 経済学部ではなぜ 2 回受験するのですか？

入学時と 1 年次終了時のスコアを比較することで、英語力の伸びを可視化し、2 年次の英語科目の選択に活用いただくためです。自身の成長を客観的に確認できる機会として設定しています。

■ 保護者の皆さまへ

Q5. このテストは子どもに過度な負担をかけませんか？

TOEIC Bridge® L&R IP テストは、基礎から中級レベルを対象とした内容で構成されており、新入生が無理なく受験できるテストです。学生に過度な負担がかからないよう配慮しています。

Q6. このテストは将来に役立つものですか？

TOEIC Bridge®は、英語学習の到達度を示す指標として広く認知されており、将来的に TOEIC® L&R テストや留学、就職活動に向けた学習の目安として活用できます。

具体的な活用事例は以下リンクよりご参照いただければ幸いです。

「ビジネスで求められる英語力 & TOEIC の活用実態」

https://www.iibc-global.org/toeic/toeic_program/value/ae_feature.html

【お問い合わせ先】

本件に関するお問い合わせは、下記メールアドレスにて受け付けております。

※お問い合わせはメールのみで受け付けております。

神戸国際大学 教学センター

Email : kym@kobe-kiu.ac.jp